

# 2011 SEA GULL FC

## 会 報



Vol.50



「全キス」遠路はるばる参加の皆さん、お疲れさまでした。  
ポイントの距離ごとに釣れたキスのサイズが大きく分かれています。  
さすが会長の前には「ランク物」を含む良型がズラリと並びました。

## 1. 全キス

6月19日、恒例の全日本キス釣り選手権大会が開催されました。シーガルFCは、これまで三浦・沼津・丹後等の会場に分散して参加しておりましたが、今年は参加メンバー全員が沼津会場にエントリーして井上会長の生け簀荒らし?と相成りました。

地元組は井上会長と浩太君、大阪からは森本夫妻、東京からは私が参加です。深夜からの長丁場ですので夕刻に仮眠をとり9時に東京をスタート。土曜日ということもあり首都高速は用賀辺りまで混雑しておりましたが、東名高速に入るとスイスイ流れ、あっという間に沼津インターに到着。

会長のお宅で一服させていただいてから集合場所へ。既に会場担当の皆さんも到着されており、受付と注意事項の伝達を済ませ、勇躍釣り場へ急ぎます。「深夜釣りはしんどいので明け方から」などと思っていましたが、いざ釣り場を前にすると釣り師の血が騒ぎ、足は勝手に浜を目指していました。

ケミホタルを付けて太めの仕掛けをセットし「さあ、来い」とばかりに第一投。しかし、何回打ち返しても上がってくるのは長～いやつばかり。結局、会長と浩太君がランク未満のキスを数尾釣り上げたのみ。

夜が明けて、辺りが明るくなる頃からキス仕掛けを投入すると4色近辺でポツポツとアタリが始めました。しかし、ランクには遠く及ばない20cm未満です。

そんな中で井上会長に良型がヒット。早速、メジャーで計測すると24cm超(検量時にはチョット縮んで23.5cm)のランク物でした。ポイントを確認すると6色オーバーとのこと。私の投擲スタイルでは、とても到達できない距離ですが、6色から3色辺りまで満遍なくアタリが出ており、森本夫妻も良型を数多く上げておられます。



【井上会長は良型をダブルでGET】



【おっちゃんも良型のダブル!】

以前の原海岸では考えられなかった良型の数釣りを楽しめるのですから、これ以上ない贅沢と言っても言い過ぎではありません。

その後、立て続けに井上会長とおっちゃんに良型がヒットして俄然ヒートアップしましたが、ランクには数ミリ足りない残念賞ばかり。各々20尾程度釣り上げたところでタイムアップ。

検量の結果、井上会長の23.5cmが本命唯一のランク物でした。他クラブの方は、キュウセン狙いで25~28cmクラスをズラリと並べられていました。

会長の奥様が入れて下さった冷たいコーヒーをいただき、沼津を後にしました。

夕食のテーブルには存在感のあるキス天が盛りされていたのは論を待ちません。



さすがランク物はデカイわ~!

## 2. クラブ対抗

7月10日は待ちに待った「クラブ対抗戦」です。

東京組（スーさんと私）は8日午後9時に我が家を出発。一路東名高速を西進、工ボ鯛会長との合流スポット「愛鷹SA」に向かいます。お約束の時間に遅れることなく合流し、更に西進して北陸道～敦賀経由で夜が明ける頃に、大阪組（おっちゃんときねえさん）と合流。

そして大物ポイント天橋立に向かいました。あいにく駐車スペース満杯の状態でしたが、そこは勝手知ったる大阪組同行の強みです。急遽、U字溝の鉄製蓋を移動して楽々と駐車スペースを作り駐車問題は「即」解決。もちろん蓋を元の場所にお返ししたことは言うまでもありません。

さあ、第1投となりましたが、大物場というわりには小物が数尾。藻が多い上に根掛かりも発生。

しかし、さすが投げ北メンバーのおっちゃんですなあ。しっかりと良型1尾を釣り上げ、余裕の一服。

しかし、後が続きませ〜ん、ということで即移動。

再度、鉄製蓋を移動して無事に駐車スペースから脱出。

蓋は、再度元通りあった場所にお返ししました。

次に向かった場所は、空き地からフェンス越しに釣る関東では考えられないような小場所。

ところが、これが大当たり。良型のダブルやランク物と思えるような良型が・・・。



【おっちゃん、余裕の大物や!】

しかし、今日は持ち帰るわけにもいかずにリリース。

会長・すーさん・私も十分に良型のアタリを堪能しました。

良い思いをさせていただき、おっちゃん、ときねえさん、アリガトね。



【良型のアタリに笑顔の絶えない面々でした】

明日は大事な「クラブ対抗戦」ということで、後ろ髪を引かれつつ小場所を後にしました。

海岸沿いに丹後半島を巡りながら、大阪在住時代に何度も釣行した伊根・本庄・平浜などの状況を見ながら後ヶ浜を訪れました。

後ヶ浜で風食・休憩の後、キャンプ場側から浜に出て試釣。





最盛期の後ヶ浜を知る人にとって、現在の後ヶ浜は大場所と言えないポイントになりつつあるようですが、やはり関東勢の私達にとっては大キスのメッカ。

逸る心を抑えつつ、以前の記憶を辿りつつ、ポイントを決めて第1投。以前は、糸フケを巻き取る必要がないほど深かった海は、糸フケを巻き取らなければならないほど浅くなっており、確かに海が変わっていました。

4色半位までサビいてきたときに明確なキスのアタリ。と、もう1回。

こうなると先ずはご尊顔を拝さないことには収まりません。上がってきたのは、良型のキスが2尾。しっかりと針掛かりしています。夕刻までゆっくりと後ヶ浜で過ごした後、浜詰の温泉に。汗を流し、サッパリとしたところで「カンパーイ！」

「ビールが美味しい！」

幸福感に浸りながら、早くも翌朝からのクラブ対抗戦の話題で盛り上がり・・・。

睡眠不足は身体に毒と営業時間ギリギリまで仮眠をとって受付場所の久美浜「浜公園」に。

受付会場では、大阪協会の皆さんと笑顔のご挨拶。

受付終了後、暑いこの時期、ありがたいことにエアコンの効いている部屋で仮眠をとらせていただきました。



開会式で各種説明を受け、各チームそれぞれ思い思いの釣り場に散開します。シーガルA・Bともに浜詰の駐車場に車を入れて、浜を500mほど芝古方面に歩いて釣り場に入りました。

5時から10時までの5時間・重量勝負の開始です。

開始早々、アタリが連発して大漁の予感。しかし、こういう時は誰もが大釣りの可能性があるので油断は大敵です。周りでは、7本・10本針で順調に釣り上げています。



「エボ鯛会長、スーさんのお二人は順調に数を伸ばしているなあ」などと思いながら釣っていると、目の前がク〜ラ・ク〜ラとしてきてダウン寸前。

涼しかったので「首にマジクール巻くのを忘れてた！」と思った時は遅かった。

ちょっと小休止して、水分補給とクーラーで冷やしたマジクールを首に巻いて再スタート。

会長とスーさんの足を引っ張った格好になってゴメンでやんす。

検量の結果、出場81チーム中、シーガルAチームは3104gの13位で入賞、お二人で頑張ったシーガルBチームは1308gで59位に。

遠路、京丹後まで足掛3日間の遠征投げ釣り大会は、事故もなく無事に終わり、まずは「良かった」です。皆さん、お疲れさまでした。

「来年は、若い力で10位以内に入って欲しいナ！」と考える「爺や」なのであります。





【表彰式を終えて。ん!ときねえさん、また何かGETしたの?】

### 3. えのみやサーフ35周年記念大会

森口 康司

私と“えのみやサーフ”との係わり合いはもう20数年にもなるでしょうか？

えのみやサーフの大田会長が転勤で東京（正確には大宮）在住時、東京協会と共に活動されていた頃に遡ります。

千葉協会のお誘いで鹿島港の合同カレイ釣り大会が開催された時に偶然、車に同乗されたのが、えのみやサーフ創立者の前会長、小池さんその人だったのです。

その頃の私は、未熟を絵に描いたような投げ釣り初心者でしたから、後部座席で緊張している私に小池さんは「今度、広島においでなさい」と言ってくださいました。後年、その言葉に甘えてノコノコと広島に赴き、本格的に小池さんやえのみやサーフの皆さんとの親交が始まることになったのでした。

山陰での釣りは大田会長と共にクラブ対抗に参加の際、数日前に釣行したのがきっかけでした。何より目がまわるような忙しい釣り場転戦で「まずは道具の仕舞い出しの速さを鍛えなきゃ！」と思ったものでしたね（笑）

こういった遠征や諸先輩との出会い、釣友との親交が実は実践の釣りを覚える行くには重要なことなのだということを予想も出来ませんでしたから無理もないことだったと思います。

その後は年に一度広島に赴き、小池会長と共に山陰・能美島・周防大島、そして山口まで入ったの釣りなど色々とお教え頂き、えのみやサーフの皆さんとの親睦も重ねながら現在にいたっております。

さて今回の35周年ですが、井上会長、息子さんの浩太君、大阪支部の森本夫妻、そして私達夫婦6人での参戦でした。車で向かった4人も私達も強行軍の日程でしたが、そこは綺麗な海とキス、それに何よりも人との繋がりが好きなシーガル面々ですから短い時間でも有意義に過ごすことができましたと思います。

今大会は、大物の部とキス数釣りの部に分かれていて、大物の部は27日の正午から28日の11時までとロングラン、キス数釣りの部は28日午前6時から3時間内に50匹早掛けタイム早上がりというルールで、シーガルは全員、後者のキスの数釣り部門へのエントリーとなりました。

初日27日の昼に浜田市、一泊予定の千畳苑前で全員集合。数釣り会場の千畳苑前の国府海岸で試し釣りを…と思いましたが海水浴客も多く、ここまで来て気遣いながらの釣りではどうかと思い、小池さんに相談…「少し遠いが琴ヶ浜なら」とのご意見でしたし、琴ヶ浜（馬路海岸）ならシュチエーションも抜群、小池さん曰く「琴ヶ浜にキスが居らんかったら島根にはキスは居ら

ん」と言うほどの釣り場で鳴き砂でも有名、私も島根に来たらキスの大小に依らずに必ず竿を出す釣り場です。勿論ポーズなんて事はありません。何せ「琴ヶ浜にキスが居らんかったら島根にはキスは居らん」…ですから（笑）

琴ヶ浜は海水浴客もなく絶好のコンディション、千畳苑で合流したえのみやの溝部さん（今回は本当にお世話になりました）とは「いつか浜で竿を共に」とお約束した間柄、氏も一緒に竿出し、勿論小池さんも既に奥の大型釣り場へ。

1.5 色から手前でまさに入れ食い状態、型こそ小型でしたがそのアタリは活性の高さを感じさせてくれました。しかし、これが翌日の大会に悪影響を及ぼそうとは……………。

千畳苑へ戻り入浴後、懇親会開始。実はこれがあったので全員数釣りにエントリーした理由もあったのです。岡田愛媛協会長も一緒にえのみやの皆さんとの懇親会は宵まで続くのでありました。

さあ 28 日 6 時、エントリーを済ませていよいよ大会開始……………中央部右寄りに釣り座を構えたシーガル面々第一投……………えっ魚居ない！……………昨日の馬路海岸のイメージはバッサリ切り捨てられてしまいました。

開始一時間で、なんと 3 匹。次第に右寄りに右寄りに釣り座を移動。天満の森本おっちゃんが少ないながらも拾い釣り、後ろを通過して浜最右側へ移動してゆく井上会長は、9 匹から追い上げ体勢、和子ママは釣れずとも投げ返し掛ける執念のいつものスタンス、遠投もいまひとつの浩太君もときねえさんも不調で右側へ移動。

1 時間半経過でようやく 3 色付近にポイントを見つけ出した…がここで慎重になったんですね～。針を付け替え間違いないようにと投げると言うより、置きに行ってしまう…無念の高切れ…やってしまいました。

30 分後移動した井上会長が 50 匹で上がり……………そうか浜右側が好調だったと云う訳か……………でもねえ、ようやく見つけ出したポイント、引き下がるわけにも行かずにオモリ以下取替えポイントへ、しかし何か変？アタリが遠く感じられてバナナ、オモリを取り替えて続いてキャスト、またバナナ、再度オモリを…あららピッタシのオモリは和子ママのオモリケースへ、思い切って重くして早引きに…2 度あることは 3 度ある、バナナ！！サスガにギブアップいわずもがなですね～（苦笑い）

浩太君も上がり。さすが 2 代目。

森本のおっちゃんマイペースで終了 2 秒前に 50 匹上がり～。

ときねえさんわずか 1 匹足らずで無念の 49 匹時間切れ。

私と和子ママは見事撃沈でした。

11 時から浜田港で表彰式が行われ、大物の部は千葉協会の三瓶さんが 29.7cm キスで優勝、以下黒鯛、マゴチ、キスと続いていました。

数釣りの部は井上会長が 6 位で以下浩太君、森本おっちゃんが入賞でした。

トップは、わずか 43 分だったとのこと、でも地の利もない遠征組、しっかり追いついて入賞はさすがです。つくづく順位じゃあないな～井上会長、シーガルの面々確実に TOP 級の腕前です。順位は上でなくても馬路海岸で竿を出せた事でお許しくださいね～皆さん。

今回は大忙しの島根遠征でしたけど次回は是非、えのみやサーフの皆様が寄ってたかってキスを釣らせてくれるかと思しますので懲りずにまた出掛けてください。

今回お骨折りを頂きました大田会長、溝部さん、えのみやサーフの皆様ありがとうございました。師であります小池さん、釣りのみならず、人としてのお教えはいつも心に留めております。御礼と共に今後ともシーガル FC との親睦をお願いして釣行記始末とさせていただきます。



やっと到着。  
そこはキス釣り別天地でした。



久しぶりの投げ釣りに  
満面笑みの Morison.Jr さん。



こちらも久しぶりの投げ釣りに  
喜色満面。  
毎日、お疲れさまです。



ときねえさん、  
アンタは凄い！  
怪電波は発していない模様？



おっちゃん、お疲れさまでした。  
さすが、大阪支部長！



鍛えられ方が違うねえ。  
さすが、2代目！



会長、さすがの成績。  
ピンク竿に  
ピンクのTシャツ。  
決まっていますなあ！

#### 4. 初心者親子釣り教室

9月9日の22時に東京を出発して沼津の会長宅経由で一路南知多へ。途中、思わぬ事故渋滞で到着は集合時刻チョット前の4時半。1年ぶりの再会を喜ぶ暇もなく、生徒さん達に「こんなにお魚が獲れるんだぞ！」というメッセージのための釣り開始。

台風の影響と水温の上昇でシロギスは波打ち際と6色以上にしか居ませんが、全員でがんばり7時頃までに50尾ほどを確保。

朝食後、講堂での開校式に続き、大田事務局長率いるJOFI愛知の釣りインストラクターさんによる釣りがもたらす効用や安全知識、糸結びなど釣りの基本を実体験。



昼食後は全家族を3班に分けてグラウンドで投げ方の講習、初めての方が殆どでしたが、約2時間の練習で全員合格となり浜での実釣となりました。

例年のことですが、上達度1番は子供さん、2番はお母さん、お父さんは自己流に走る方が多くなかなか上達しません。

子供さんがシロギスを釣り上げ、お母さんが釣り上げ、蚊帳の外はお父さんが多いですね。

釣りが終わり、夕食が済むと講堂に集合して、講師達が気付いた点を「ワンポイント・アドバイス」として20時過ぎまで講義をします。

これが終わり、講師が入浴を済ませると既に時計は21時30分。

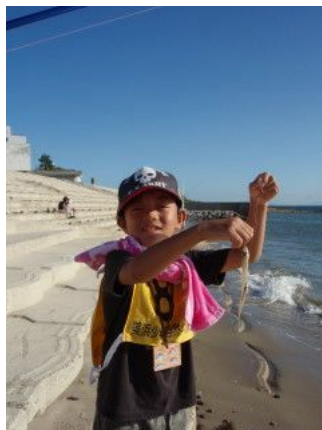
冷たいビールを2缶ほど飲むと疲れで白河夜船。翌朝の4時半起床まで夢も見ずにグッスリと眠りました。5時に海岸に着くと「前日の好釣果再び」を夢見るファミリーが続々と集まり釣りの開始です。8時を過ぎる頃から暑さも一段と厳しくなりましたが、ファミリーの熱意はますます高まるばかり。

全ファミリーが型は小さいものの満足の釣果を得て、楽しさを満喫されていました。

11時には無事に教室を終了し、海岸清掃、講師による模範演技などを終えて帰宅の途につきました。参加された皆さんの魚をGETしたときの笑顔がとても素敵でした。

JOFI愛知のスタッフの皆様、本当にお疲れさまでした。

来年も参加させていただき予定しておりますのでよろしくお願いいたします。



#### 【編集後記】



最近、なにかと暗いニュースが多い日本。  
久しぶりに歓喜の涙を味わった『なでしこジャパン』の  
女子W杯優勝と選手たちの素晴らしい思いやりの心。  
我が日本は、古来、苦しい時に女性の活躍が目立った  
お国柄。国民栄誉賞だけでは物足りないぞ～！  
女性総理の誕生を本気で望むのは私だけ？  
写真は大和撫子とも言われる「カワラナデシコ」。  
可憐な姿が良いですね。

やすよし